

令和2年度 学校評価アンケートの概要について

1 回収率

実施日：令和2年11月24日（火）～12月7日（月）

対象		回答者数	回収率	(昨年度)
生徒	102名	101名	99.0%	(97.2%)
寄宿舎生	58名	58名	100.0%	(98.4%)
保護者	102名	99名	97.1%	(94.4%)
教職員	69名	69名	100.0%	(100.0%)

2 結果と考察

○保護者・職員 A「当てはまる」、B「やや当てはまる」、C「あまり当てはまらない」、D「当てはまらない」から選択

○生徒・寄宿舎生 A「当てはまる」、B「当てはまらない」から選択

(1) 学校経営全般について

- 教職員、生徒、保護者とも全項目において、肯定的評価が85%以上であった。
 - 生徒からの教職員に悩みを伝えたり相談したりすることができるという回答の割合が昨年に比べ5.3%増加した。
 - 保護者の96.0%、教職員の100.0%が、(学校が)悩みなどの相談に丁寧に対応していると評価しているのに対して、教職員に悩みを伝えたり相談をしたりすることができるとする生徒の割合は88.1%であった。
- 今後、一層生徒の思いや考えを丁寧に聞き取り、学校全体で共有して、生徒へ対応していきたい。

(2) 学習活動について

- 生徒、保護者、教職員とも全項目85%以上の肯定的評価であった。
 - 保護者の学校行事についての肯定的評価が昨年度より6.1%、教職員の交流学习等についての肯定的評価が9.2%、それぞれ減少した。新型コロナウイルス感染症拡大の影響による学校行事の変更、交流活動等の中止などが影響していると考えられる。
- 今後も新型コロナウイルス感染症への対応を進め学習活動との両立を図ると同時に、生徒、保護者への説明、教職員の共通理解を果たしていきたい。

(3) 生活面の指導支援について

- 全項目85%以上の肯定的評価である。

(4) 科の選択について

- 生徒、保護者、教職員とも肯定的評価が90%以上であった。
 - 昨年度に比較し、保護者の肯定的評価が5%減少した。
- 今後とも生徒、保護者への丁寧な説明を継続したい。

(5) 進路指導について

- 生徒、保護者、教職員とも肯定的評価が85%以上であった。
 - 保護者の肯定的評価の割合が昨年度に比較して6.2%減少した。
- 今後とも生徒の個々の状況に合わせた進路学習の充実と丁寧な情報提供を進めていきたい。

(6) 保健安全について

- 生徒、保護者、教職員とも全項目85%以上の高い評価であった。
- 命や思いやりなどについても、これまでの学習を継続しながらより一層学習の充実を進めていきたい。

(7) 施設設備について

- 教職員、保護者ともに85%以上の高い評価であった。
- 教職員の肯定的評価が昨年に比較し6.2%減少した。施設設備の老朽化に伴い設備等の修繕が重なっている状況が背景にあると考えられる。
今後とも教育環境の整備に努めたい。

(8) PTA活動について

- 保護者、教職員とも肯定的評価が85%以上であった。
- 教職員の肯定的評価の割合が昨年度に比較して10.1%減少した。
新型コロナウイルス感染症拡大に伴うPTA行事の中止、縮小等が背景にあると考えられる。これを機にPTA活動について再検討する必要があると考えられる。

(9) 寄宿舎について

- 生徒、保護者、職員の肯定的評価の割合は全ての項目で80%以上であった。
- 寄宿舎生が自習時間に学習に取り組むことができるとする評価の割合は、昨年度より10.8%増加した。
- 生徒の寄宿舎行事や余暇活動への満足度は14.0%減少した。
- 寄宿舎生同士の人間関係についての肯定的評価は、昨年に比較して保護者が5.3%減少、教職員が6.2%減少した。
感染症対策のため外部での余暇活動が変更となったことなどが影響したと考えられる。今後も感染症対策を継続しながら新しい生活様式での余暇活動の充実を図りたい。

(10) 満足度について

- 保護者、教職員の満足度は85%以上であった。
今後も生徒及び保護者の教育的ニーズをしっかりと把握しながら学校運営を進めたい。

(11) 全体として

- 全項目とも肯定的評価が80%以上であった。
- 今年度は新型コロナウイルス感染症拡大による学校行事、PTA活動等の中止、規模縮小等のため、肯定的評価の割合が減少したと考えられる項目が見られた。
今年度の学校評価で出された意見を次年度の学校運営計画に活かし、生徒、保護者への説明と教職員の共通理解をさらに進めながら、感染症予防のための新しい生活様式のなかで教育活動を一層充実させていきたい。